

20年3月期 決算の概要

2020年6月1日 訂正

株式会社今仙電機製作所

<http://www.imasen.co.jp>

I . 20年3月期決算概要

百万円	前期実績 (19年3月期)	当期実績 (20年3月期)	増減額	増減率
売上高	118,579	112,081	▲ 6,498	▲ 5.5%
営業利益	3,740	2,720	▲ 1,020	▲ 27.3%
経常利益	3,691	2,820	▲ 871	▲ 23.6%
当期純利益	2,474	553	▲ 1,921	▲ 77.6%
1株当たり純利益	118.98円	26.63円	▲ 92.35円	▲ 77.6%

北米、中国での受注減少により減収減益となり、
当期純利益は減損損失を計上いたしました

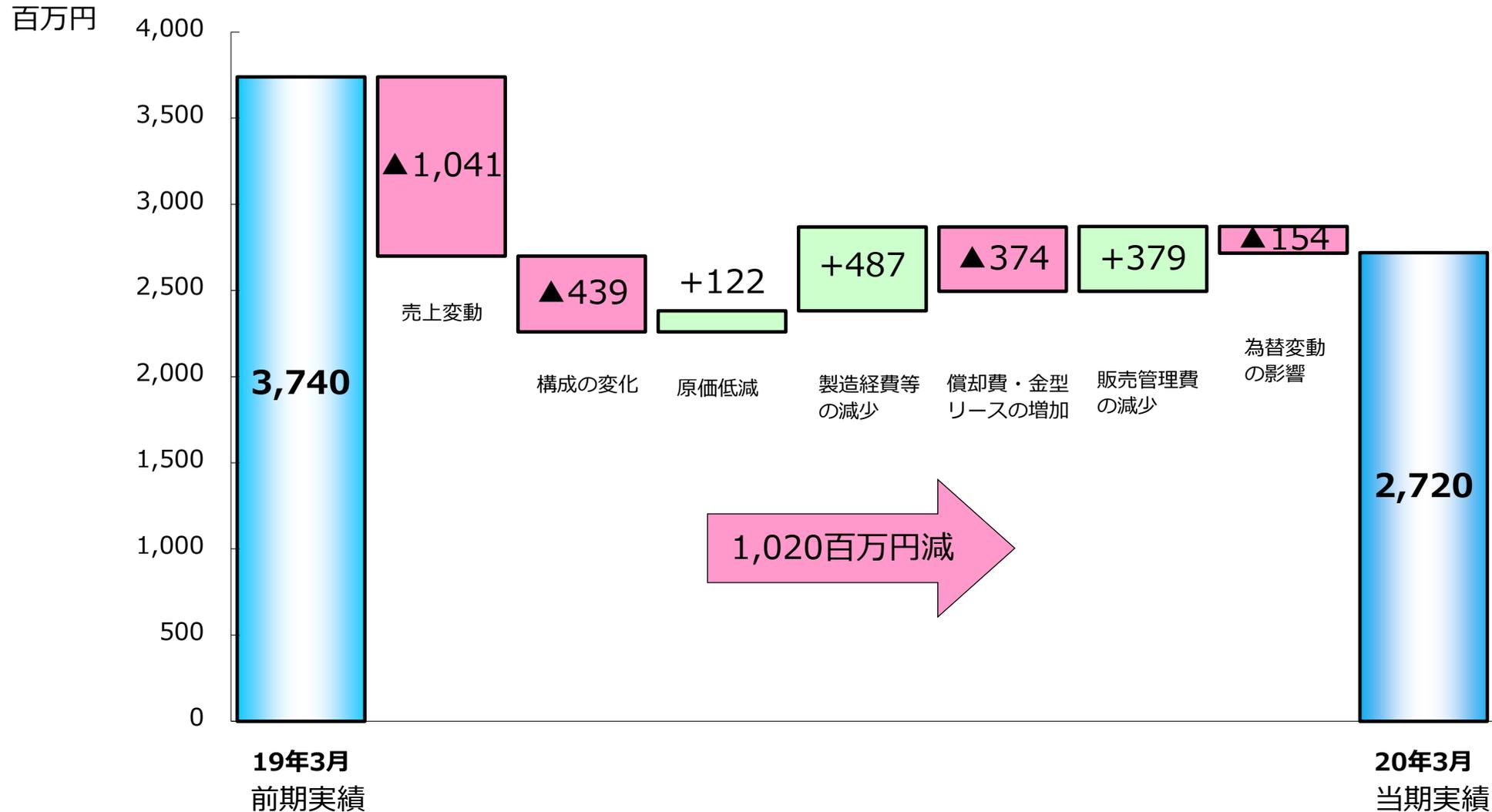
為替

USD 20/3期 109.03円 19/3期 110.44円 1.41円の円高
 CNY 20/3期 15.78円 19/3期 16.71円 0.93円の円高
 THB 20/3期 3.52円 19/3期 3.42円 0.1円の円安

百万円	前期実績 (19年3月期)	当期実績 (20年3月期)	増減額	増減率
総 資 産	84,151	80,554	▲ 3,597	▲ 4.3%
純 資 産	50,676	49,868	▲ 808	▲ 1.6%
自己資本比率	59.8%	61.5%	-	-
1株当たり 純 資 産	2,421.26円	2,380.30円	▲ 40.96円	▲ 1.7%

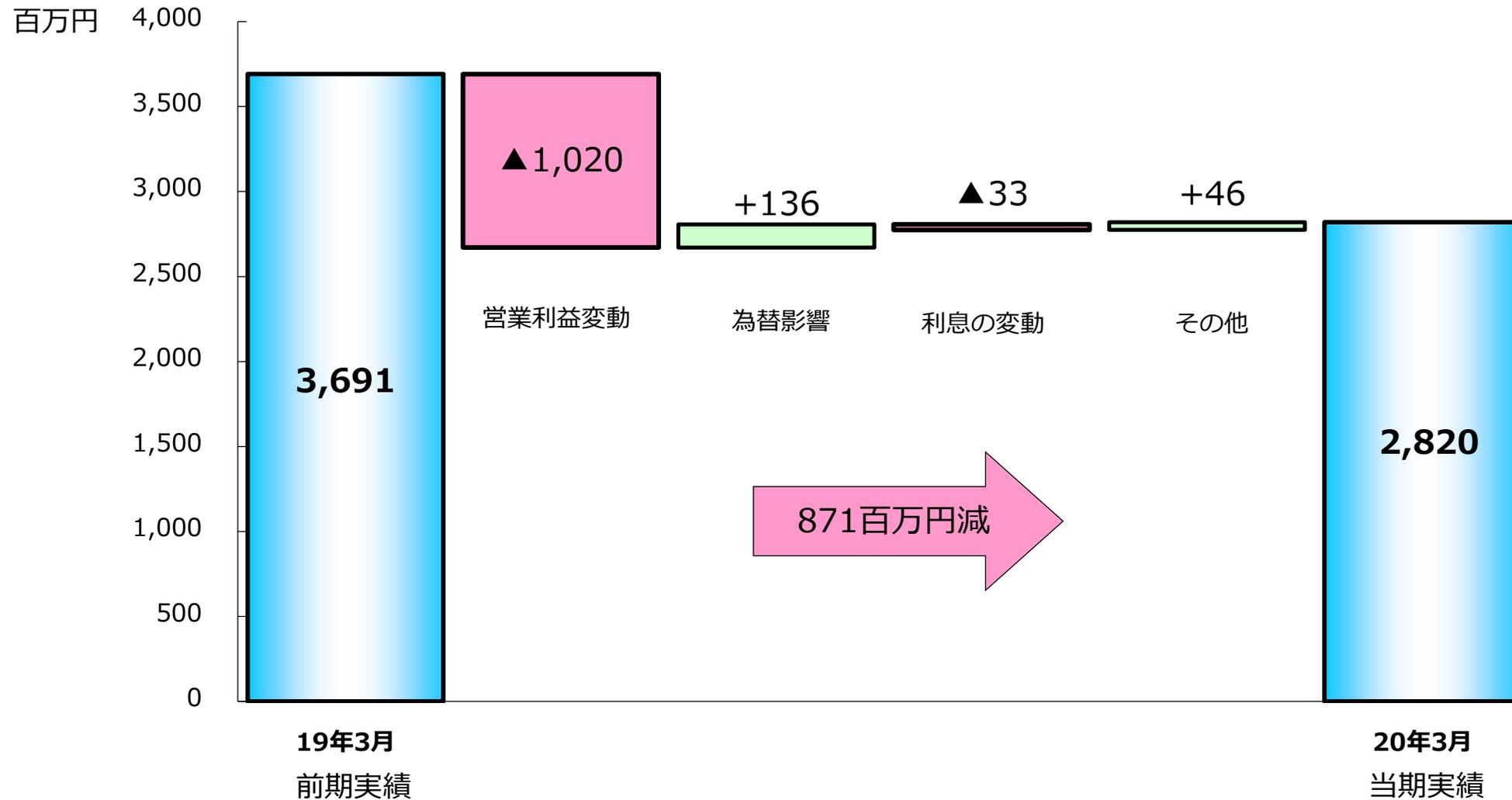
総資産は投資抑制による有形固定資産、売掛債権の減少などにより減少しております。なお、自己資本比率は61.5%となっております

4Q実績 前年同期比変動要因：営業利益



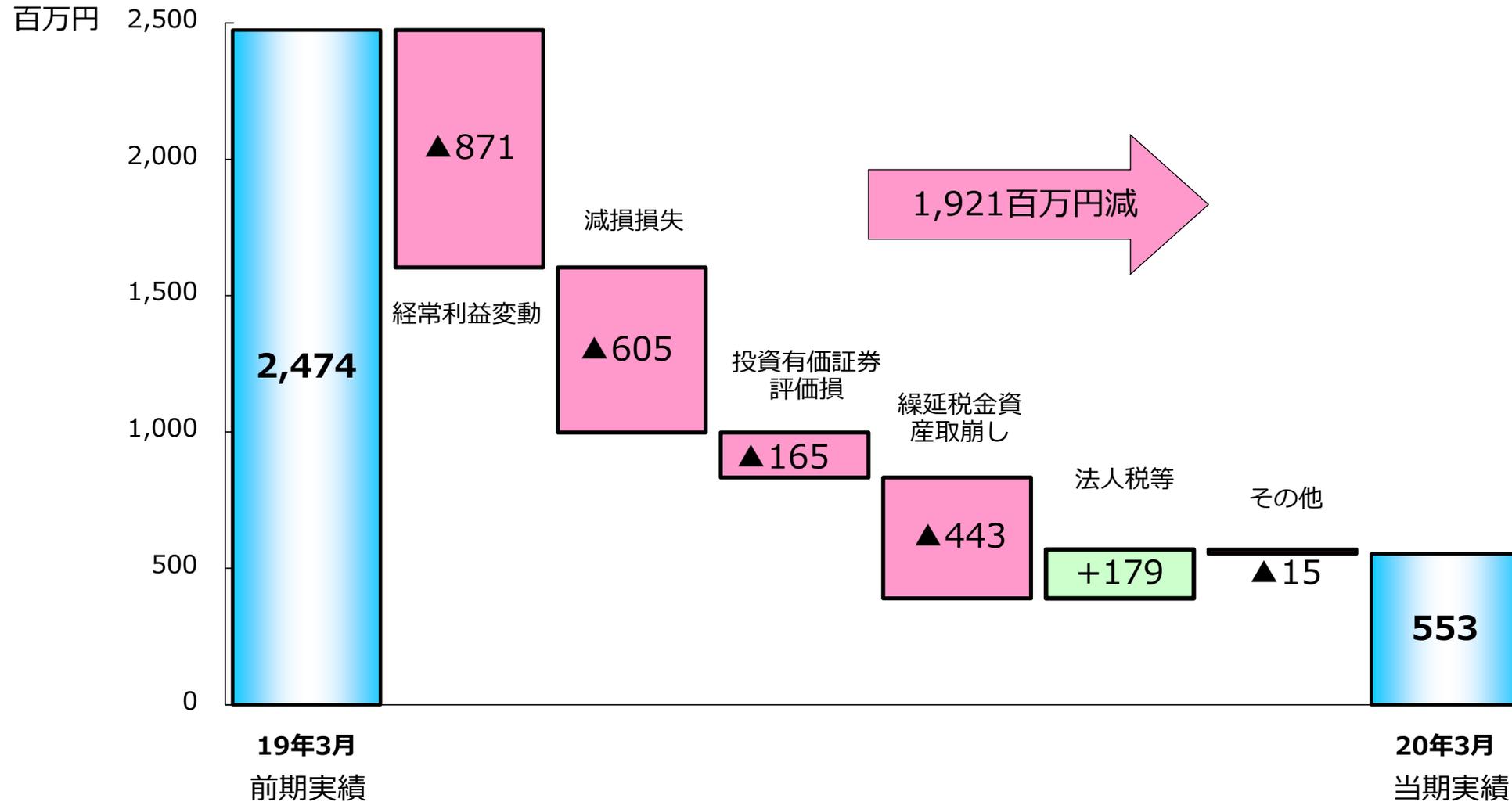
売上の減少および構成の変化により減益となりました

4Q実績 前年同期比変動要因：経常利益



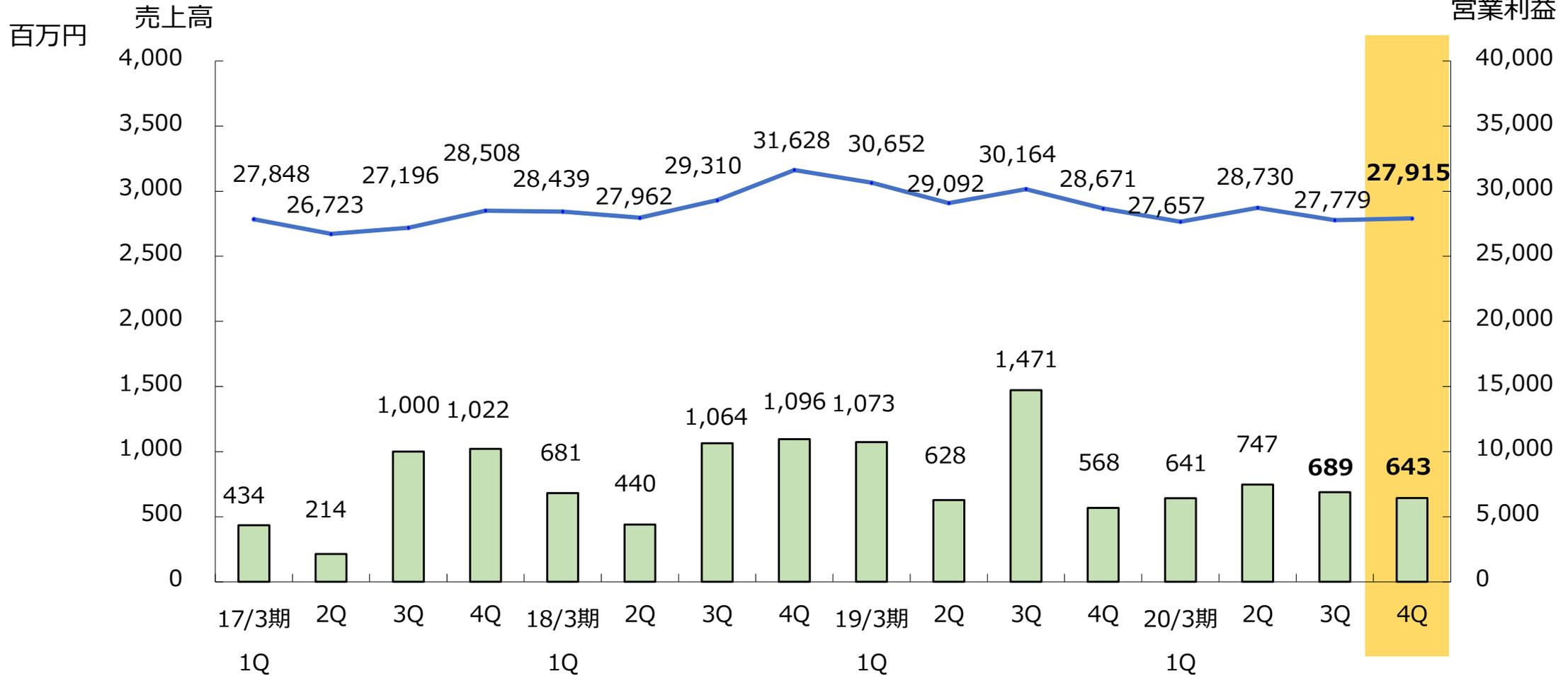
営業利益の減少により減益となりました

4Q実績 前年同期比変動要因：当期純利益



北米子会社における減損損失の計上や繰延税金資産の一部取崩しを計上しております

■ 連結売上高・営業利益の推移



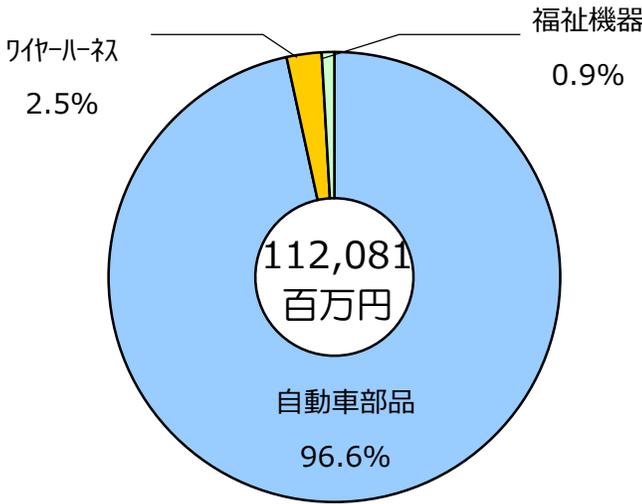
当期第3四半期と比較し、売上高、営業利益ともにほぼ横ばいとなりました

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

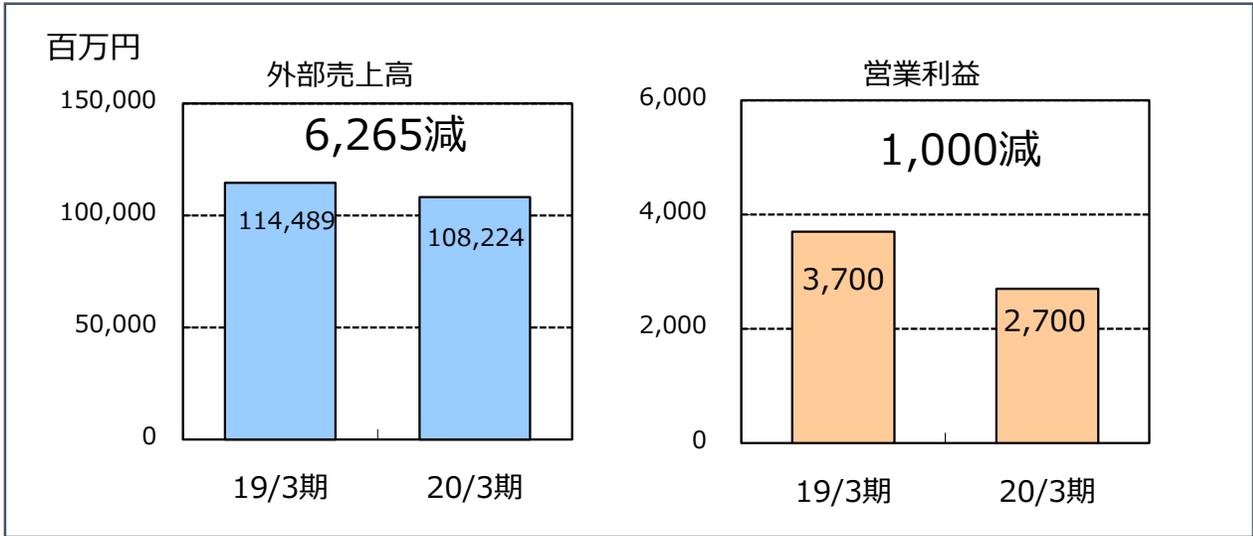
■ 事業別売上高、営業利益

百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハ 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	20/3期	108,224	2,849	1,006	112,081
	19/3期	114,489	3,037	1,052	118,579
	増減額	▲ 6,265	▲ 188	▲ 46	▲ 6,498
営業利益	20/3期	2,700	47	▲ 40	2,720
	19/3期	3,700	66	▲ 39	3,740
	増減額	▲ 1,000	▲ 19	▲ 1	▲ 1,020

事業の種類別 売上高構成



■ 自動車部品関連事業売上高、営業利益

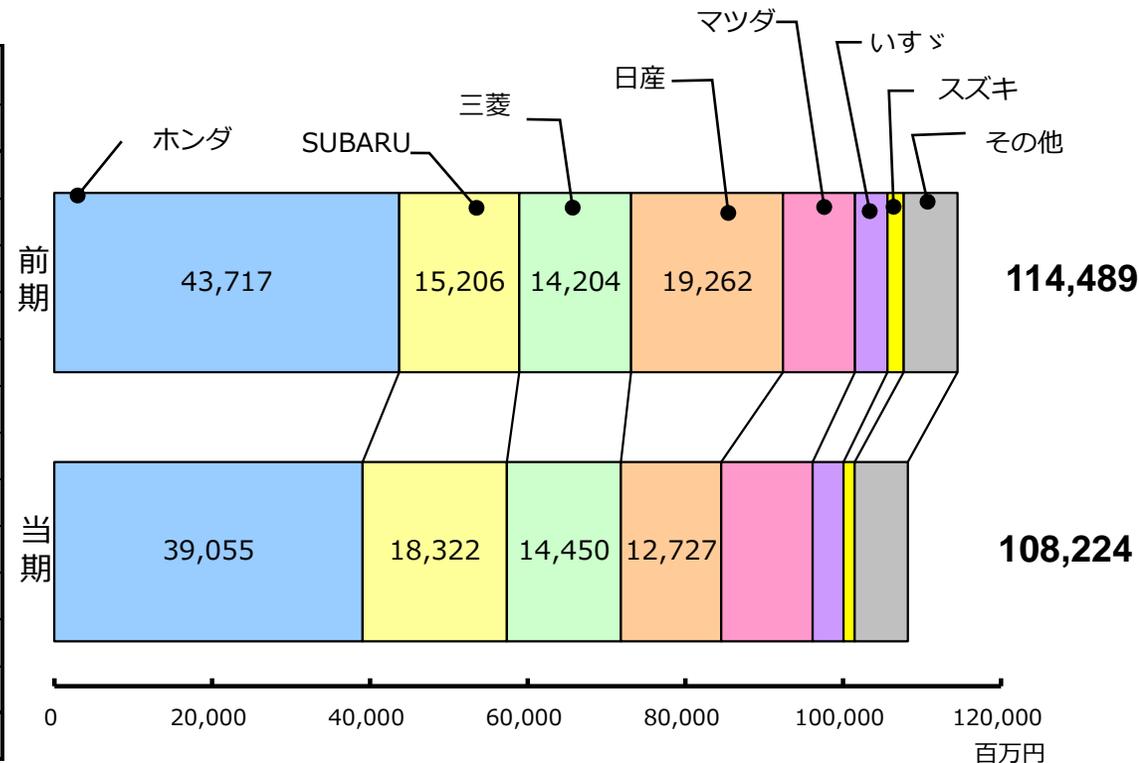


主要事業である自動車部品関連事業において、北米、中国における受注減少などがあり、減収減益となりました

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

■得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期		増減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	43,717	38.2%	39,055	36.1%	▲ 4,662	▲ 10.7%
(株)SUBARU	15,206	13.3%	18,322	16.9%	3,116	20.5%
三菱自動車工業(株)	14,204	12.4%	14,450	13.4%	246	1.7%
日産自動車(株)	19,262	16.8%	12,727	11.8%	▲ 6,535	▲ 33.9%
マツダ(株)	9,130	8.0%	11,585	10.7%	2,455	26.9%
いすゞ自動車(株)	4,091	3.6%	3,913	3.6%	▲ 178	▲ 4.4%
スズキ(株)	2,072	1.8%	1,413	1.3%	▲ 659	▲ 31.8%
ダイハツ工業(株)	772	0.7%	675	0.6%	▲ 97	▲ 12.6%
トヨタ自動車(株)	647	0.6%	562	0.5%	▲ 85	▲ 13.1%
日野自動車(株)	389	0.3%	325	0.3%	▲ 64	▲ 16.5%
ヤマハ発動機(株)	101	0.1%	105	0.1%	4	4.0%
その他	4,898	4.2%	5,092	※ 4.7%	194	4.0%
計	114,489	100.0%	108,224	100.0%	▲ 6,265	▲ 5.5%



■ホンダ系列向け

- ・国内、北米、タイにおける生産減少

■SUBARU系列向け

- ・国内、北米における生産増加

■三菱系列向け

- ・中国、国内における生産増加

■日産系列向け

- ・北米、中国、国内における受注減少

■マツダ系列向け

- ・タイ、国内における生産増加

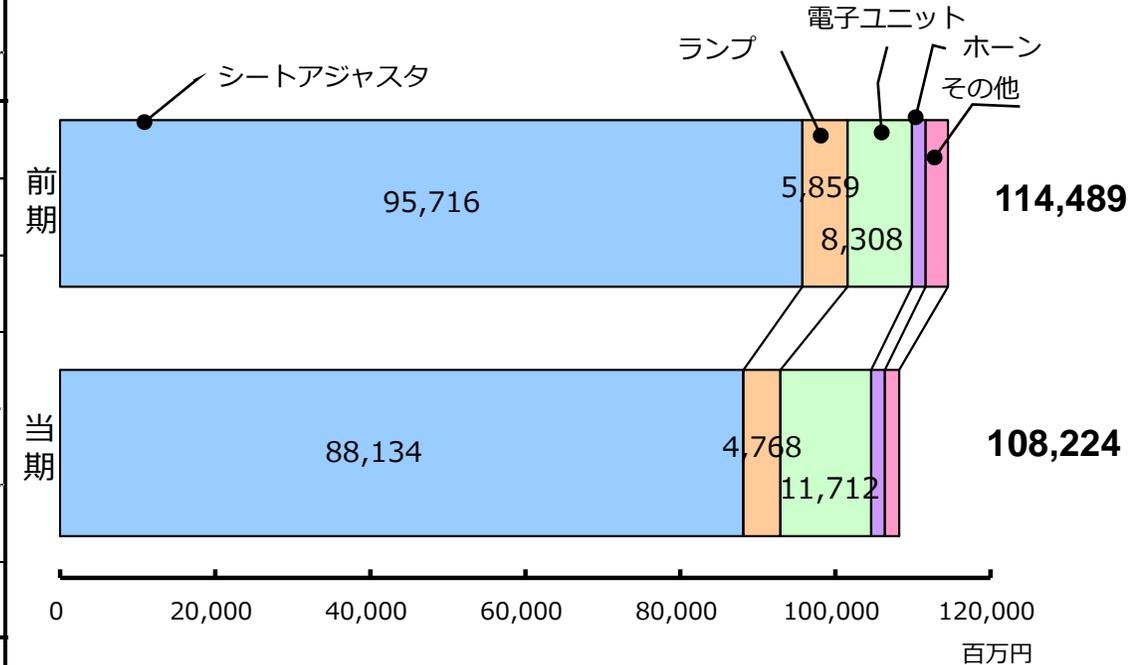
■スズキ系列向け

- ・インド、インドネシアにおける受注減少

※部分を訂正しております

■機種別 売上高構成

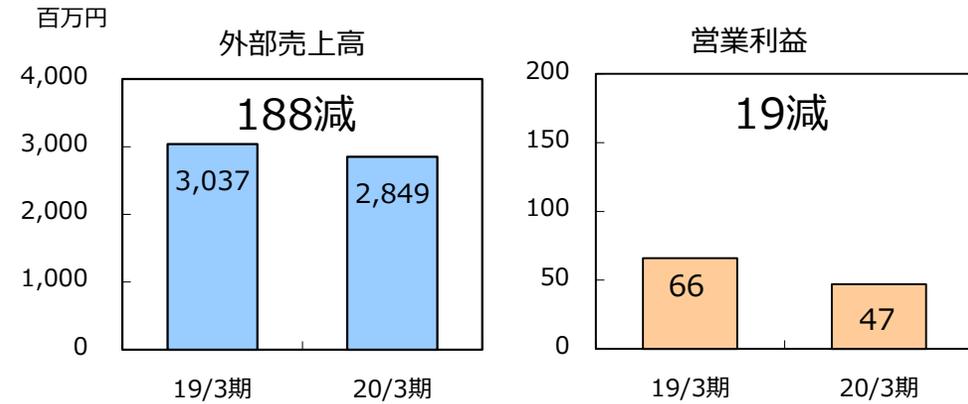
百万円	前期		当期		増減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品	95,716	83.6%	88,134	81.4%	▲ 7,582	▲ 7.9%
シートアジャスタ	95,716	83.6%	88,134	81.4%	▲ 7,582	▲ 7.9%
(2)電装部品	15,935	13.9%	18,226	16.8%	2,291	14.4%
ランプ	5,859	5.1%	4,768	4.4%	▲ 1,091	▲ 18.6%
電子ユニット	8,308	7.3%	11,712	10.8%	3,404	41.0%
ホーン	1,768	1.5%	1,746	1.6%	▲ 22	▲ 1.2%
(3)その他	2,838	2.5%	1,864	1.8%	▲ 974	▲ 34.3%
合計	114,489	100.0%	108,224	100.0%	▲ 6,265	▲ 5.5%



- 主力製品であるシートアジャスタは北米、中国が減少しました
- ランプは国内、インドが減少しました
- 電子ユニットは国内、タイが増加しました

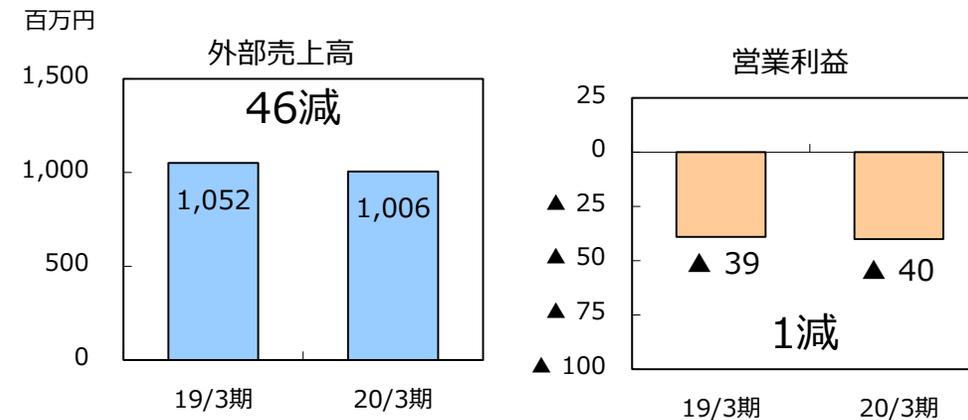
■ ワイヤーハーネス関連事業

工作機械関連の受注が減少したことにより、減収減益となりました



■ 福祉機器関連事業

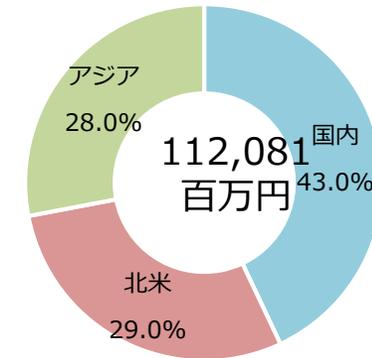
電動車いすの売上が減少したものの、原価低減活動により前年並みとなりました



■ 所在地別売上高構成

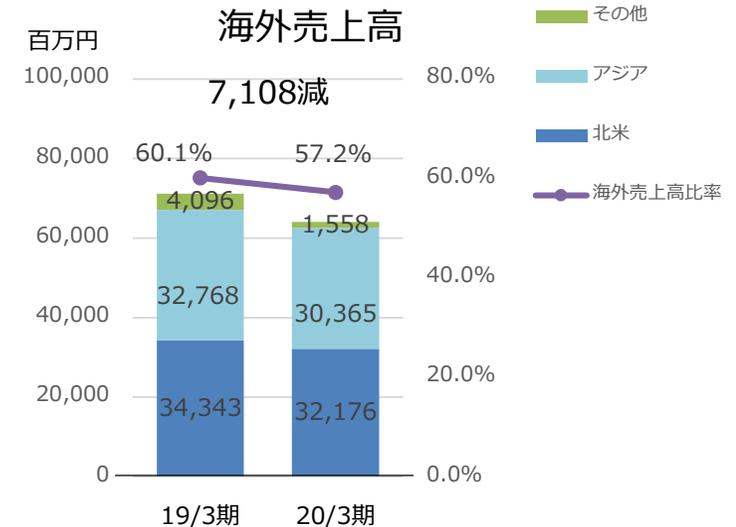
百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	20/3期	48,166	32,476	31,438	112,081
	19/3期	47,763	36,677	34,138	118,579
	増減額	403	▲4,201	▲2,700	▲6,498
営業利益	20/3期	417	▲420	2,633	2,720
	19/3期	1,324	▲311	2,689	3,740
	増減額	▲907	▲109	▲56	▲1,020

所在地別外部売上高



■ 国別売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
20/3期	47,981	32,176	30,365	1,558	112,081
19/3期	47,371	34,343	32,768	4,096	118,579
増減額	610	▲2,167	▲2,403	▲2,538	▲6,498

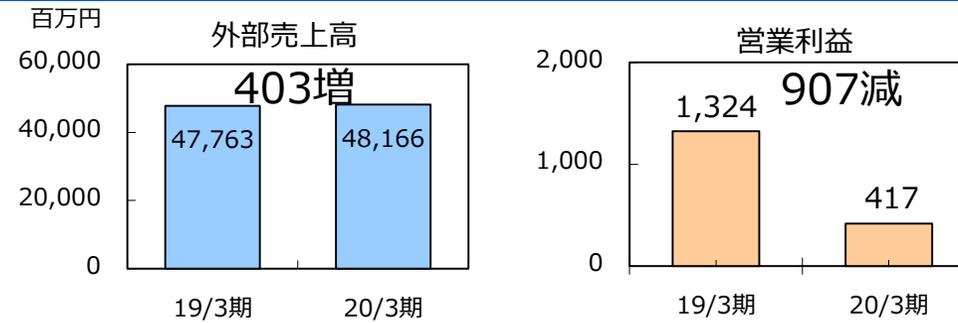


※国別売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

国内は増収減益、北米、アジアは減収減益となりました。また海外売上高比率は北米、アジア減少により、2.9ポイント減の57.2%となりました

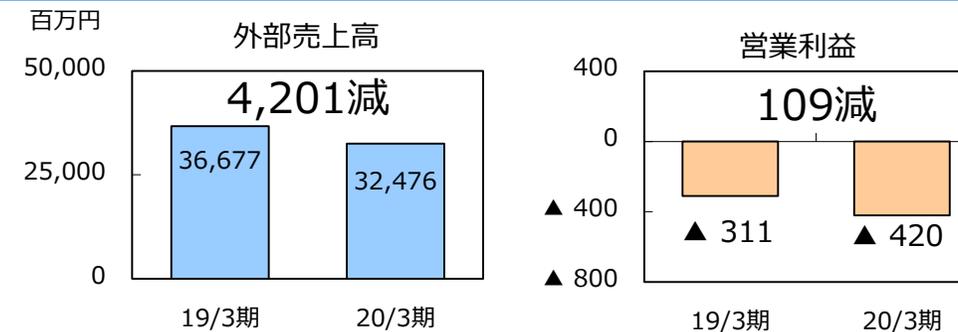
■ 国内

SUBARU、マツダ向けの生産が増加しましたが、構成変化の影響により減益となりました



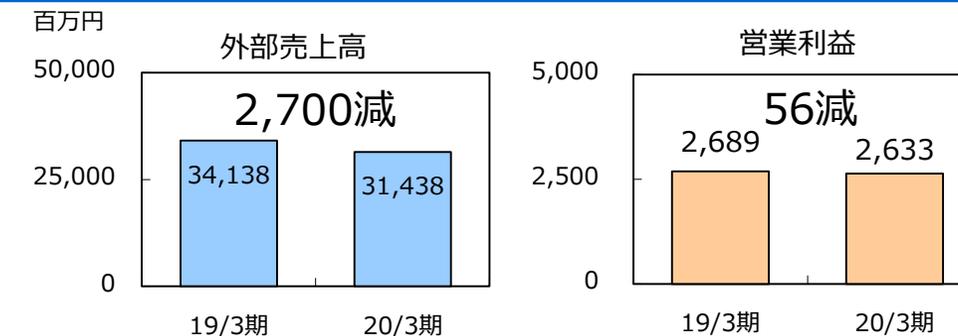
■ 北米

SUBARU向けの受注が増加しましたが、日産向けの受注減少などにより減収減益となりました

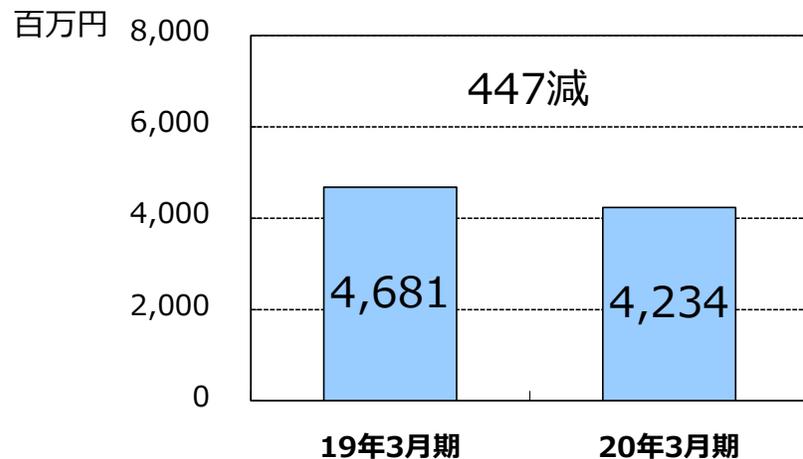


■ アジア

中国、インドなどにおける受注減少により減収となりました



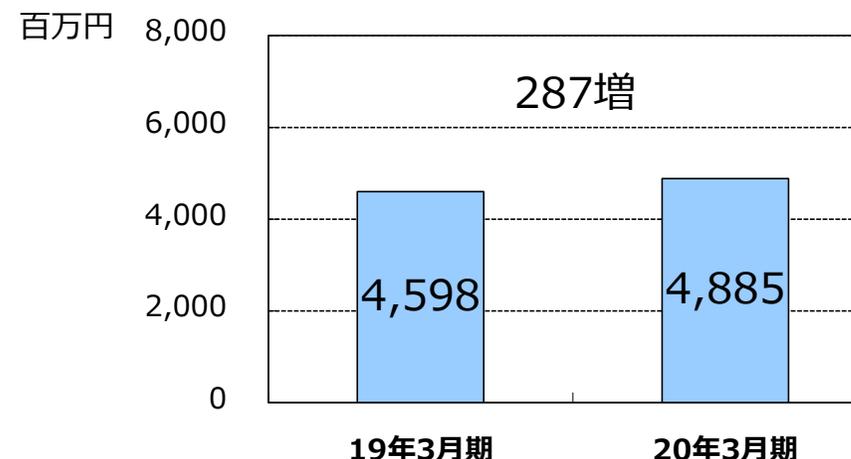
■ 設備投資



百万円	19年3月期 (実績)	20年3月期 (実績)	前期比増減
国内	2,797	2,199	▲ 598
北米	402	665	263
メキシコ	23	33	10
中国	348	433	85
タイ	679	643	▲ 36
フィリピン	373	184	▲ 189
台湾	27	14	▲ 13
インド	29	57	28
インドネシア	0	2	2
合計	4,681	4,234	▲ 447

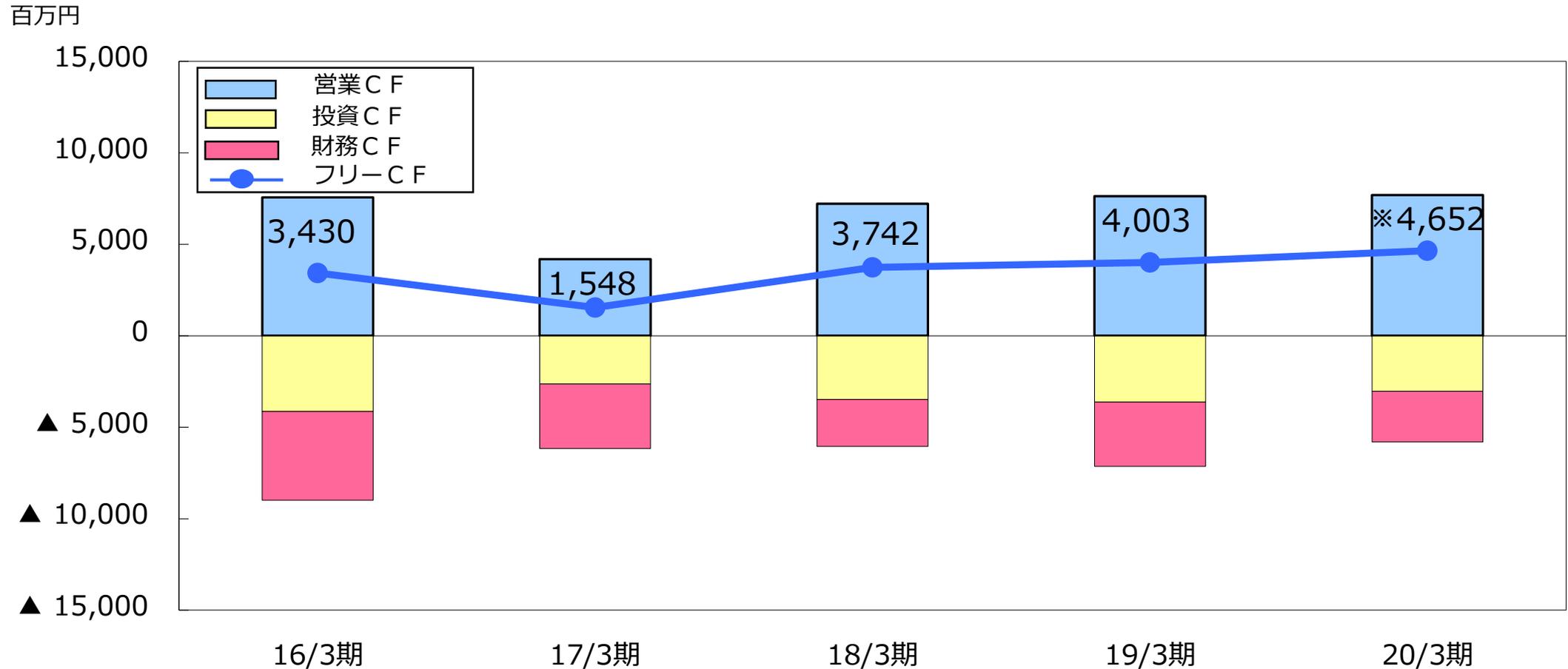
国内における投資抑制

■ 減価償却費



百万円	19年3月期 (実績)	20年3月期 (実績)	前期比増減
国内	2,536	2,665	129
北米	870	871	1
メキシコ	130	135	5
中国	489	573	84
タイ	435	398	▲ 37
フィリピン	50	164	114
台湾	19	18	▲ 1
インド	57	58	1
インドネシア	9	0	▲ 9
合計	4,598	4,885	287

新規立上り関連にて国内・フィリピンにて増加



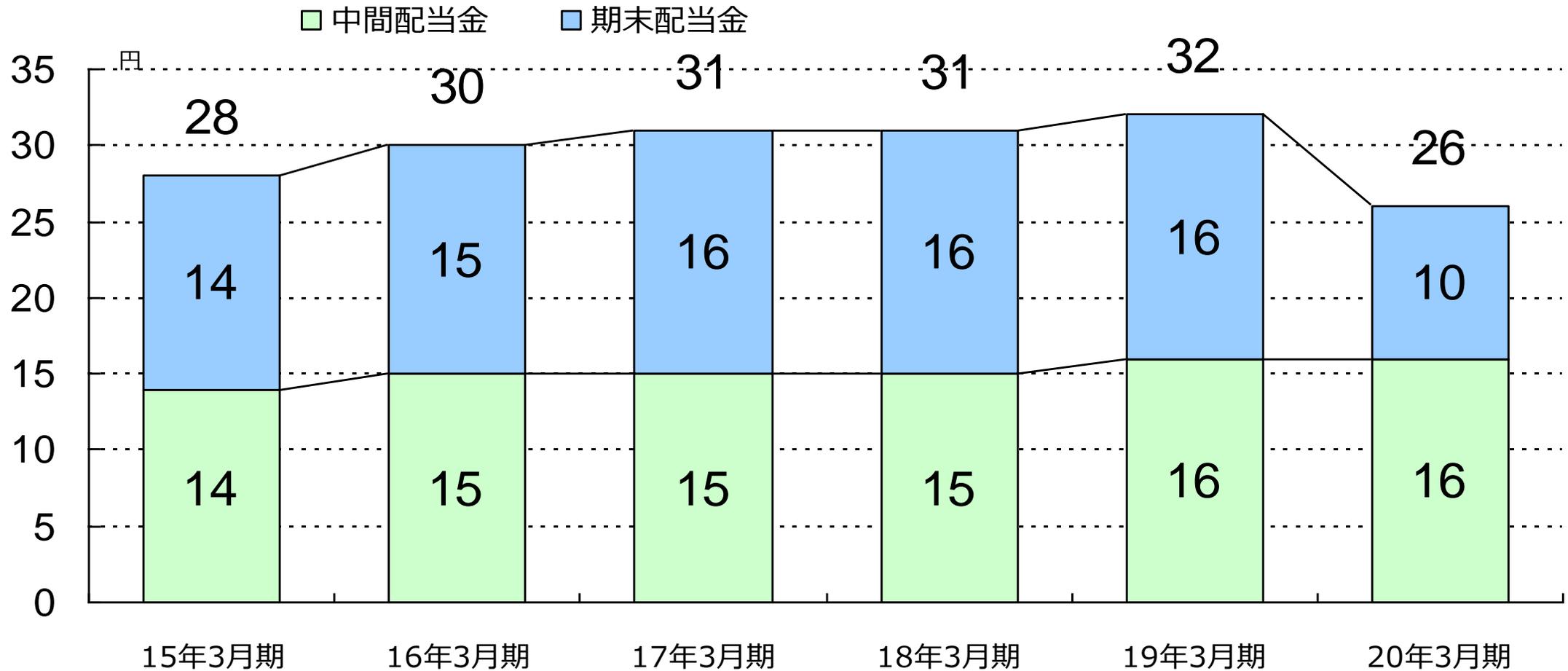
- 営業CFは、減価償却費の増加などにより、増加しました
- 財務CFはリース債務の返済による支出などにより、減少しました
- フリーCFは ※4,652百万円となりました

※部分を訂正しております

計画対比の下振れ要因

<p>外部要因 による 下振れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米中問題等により市場環境等が悪化 ・ アジアの成長率鈍化 ・ 新規立上り製品の量産開始時期の遅れ
<p>内部要因 による 下振れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産変動への対応遅れ ・ 新規立上り製品に対するロス発生 ・ 改善施策の実施の遅れ

II. 配当



20年3月期の期末配当金は当初、1株当たり17円を予定しておりました
 当期純利益の減少、さらには昨今の経営環境の急激な変化により、中長期的な
 視点で財務基盤の安定化を図るため、1株当たり10円とさせていただきます

Ⅲ. 新型コロナウイルス感染症への 対応

基本方針

(1) 新型コロナウイルス感染症対応

- ・ 従業員の安全確保
(新型コロナウイルス感染症に対する行動指針の明確化と徹底、テレワーク推進、3密対策や移動の自粛)
- ・ 適切な生産活動、財務の確保
(最適な工場稼働、在庫の削減、資金繰りの安定化)

(2) アフターコロナに向けた対応

- ・ 中期的な視点での構造改革
(開発の効率化、モノ造り体質の改革、品質強化)

IV. 21年3月期業績見通し 概要

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響により、現時点での合理的な算定が困難なため、未定とさせていただきます
業績予想は算定が可能となり次第、適切に開示する予定であります

- ・本資料の内容に関する一切の権利は株式会社今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。
- ・実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

○IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所

グローバル経営事業部 経営企画課 IR担当

TEL 0568-67-1517

URL:<http://www.imasen.co.jp/ir.html>